

ごあいさつ

株主の皆さまには、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2009年4月に代表執行役社長に就任いたしました松崎正年でございます。

「株主通信2009年春号」をご高覧いただくにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

当期（2008年度：2008年4月1日から2009年3月31日まで）は、中期経営計画『FORWARD（フォワード）08』の最終年度として、当社グループの成長と企業価値の最大化の実現に向け、一丸となって邁進してまいりました。しかしながら、金融危機に端を発した世界的な景気悪化の状況は当期後半に入って一層深刻化し、併せて円の独歩高の急激な進行も加わり、当社グループの事業および業績に大きな影響を与えました。

「力強く成長を続け、社会から必要とされる企業へ」

この事業環境の激変の時こそ自らのポジションを高めるチャンスと捉え、より強く新しい流れを創り出し、新たな成長につなげるため、2009年度及び2010年度の2年間でその取り組み期間と位置づけた『経営方針〈09-10〉』を定めました。この方針に沿って、諸環境の激変にも耐え得る“足腰のしっかりした企業体”へと体質改革を早急に図り、そして来るべき景気回復の局面において機を逸することなく俊敏に成長軌道を捉え、強い成長を実現するための既存事業の強化と新規事業の育成に注力してまいります。

私は、コニカミノルタのリーダーとして当社グループが「力強く成長を続け社会から必要とされる企業となる」という強い意志をもって、世界中のグループ社員の先頭に立ち、その実現に向けて全力を尽くしてまいります。今後とも、株主の皆さまの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長

松崎 正年